

春高に負けぬ 熱戦お届け



東福岡高の先輩後輩である
金子選手[Ⓔ]と柳北選手
(2024年12月19日)

ばばだび 広島サンダーズ

久原 大輝

先日、高校生のバレーボーラーの日本一を決める「春高バレー」が閉幕。大会が開幕すると、サンダーズの選手たちもスマートフォンを片手に、高校生の熱戦にくぎ付けになっていた。

憧れのオレンジコート縦横無尽に駆け回り、純粹にバレーボールを楽しむ姿には、われわれも学ぶべきものがあるし、「楽しむ」ということを思い出させてくれる。

この春高バレーの頂点に立った選手も、サンダーズにはたくさんいる。

愛知県の星城高で前人未踏の公式戦99連勝を達成した武智選手。今年の春高バレーを制した東京・駿台学園高では坂下選手、川口選手が初優勝時のメンバー。準優勝の東福岡高出身者では、金子選手、柳北選手がエースとして君臨。坂下、金子、柳北各選手は最優秀選手にも選ばれ、高校生バレーボーラーのトップを走り続けていた。

高校時代に頂点を経験し、今はSリーグという国内トップレベルの中で、日々勝利に向けて奮闘している。サンダーズの選手たちも、高校生バレーボーラーからみたら憧れの存在だと思うので、どのチームよりもかっこよく、そして全力でバレーボールを楽しむ姿を、皆さんにお見せしたい。(広島Tマネジャー)